施餓鬼（せがき）

施餓鬼は貪り苦しむ餓鬼に対し
飲食（おんじき）を施し、供養することから

お盆の時期に限らず
全国の寺院などで広く行われる行事です。

日蓮宗

施餓鬼について

「施餓鬼会」「施餓鬼法要」と呼ばれています。地域によっては「川施餓鬼」や「海施餓鬼」が行われます。

由　来

お釈迦さまの弟子である阿難尊者の前に、口から火を吐いている餓鬼があらわれて「おまえの寿命はあと三日だけで、死んだら餓鬼になる。」といわれます。そこで、お釈迦さまにおしえられたお経を唱え、餓鬼に飲食の施しを行うことによって寿命を延ばして天寿をまっとうできたと伝えられています。

餓鬼はあなたの心にも潜んでいます

仏教では、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天・声聞・縁覚・菩薩・仏と十個の世界があると考えます。また、人間界にいる我々の心の中にも同様に十個の世界があると考えます。

日蓮聖人は「瞋は地獄、貪は餓鬼、痴は畜生」

すなわち、怒るのは地獄の心、貪るのは餓鬼の心、おろかなのは畜生の心と述べられています。人はみな、心の状態によって、仏さまの世界にいることもあれば、餓鬼界にいることもあるのです。